

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 9月 2日 9時30分～12時30分

出席委員：入谷委員長・立花委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成28年度全国警察柔道・剣道選手権大会への出場	警務部	本 部 長
2	第61回愛知県警察柔道大会の実施		
3	第1回愛知県警察サイバーセキュリティ技能競技会の開催	生活安全部	総 務 部 長 警 務 部 長
4	「～STOP! 特殊詐欺～（まる）っといち・絆プロジェクト」による抑止対策の推進		
5	報告 主要事件の発生	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長
6	現在の暴力団情勢等～分裂から1年を経て		
7	交通事故発生状況（平成28年8月末）	交通部	交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
8	KDDIと連携した交通安全啓発キャンペーンの実施		
9	台風10号による被害発生に伴う広域警察航空隊の派遣	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（8件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申		
3	決裁 警察署協議会委員の辞職		
4	報告 平成28監査年度監査委員による定期監査の実施結果		監 査 官
5	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
6	決裁 苦情の調査結果		
7	決裁 行政訴訟の敗訴判決に対する対応方針		
8	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（2件）		
9	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求		訟 務 官
10	報告 警察職員の援助派遣	警備部	公安第三課長
11	決定 聴聞等の実施結果・決定 80件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 平成28年度全国警察柔道・剣道選手権大会への出場

警務部長から、

「平成28年度全国警察柔道・剣道選手権大会が、9月6日(火)午前9時から日本武道館において開催される。競技は各都道府県警察の代表選手による男女の個人トーナメント戦により行われ、本県警察からは柔道に7名、剣道に4名が出場する」

旨の報告があった。

イ 第61回愛知県警察柔道大会の実施

警務部長から、標記大会について、

「9月8日(木)午前9時30分から愛知県武道館において実施する」
旨の報告があった。

(2) 生活安全部

ア 第1回愛知県警察サイバーセキュリティ技能競技会の開催

生活安全部長から、

「サイバー犯罪の手口は複雑巧妙化しており、対処能力の強化はいずれの部門にとっても重要な課題であることから、職員の意識高揚及び捜査等に必要な能力の養成を図るとともに、サイバー空間の脅威に対処するための人的基盤の強化を図るため、全警察署を対象に、サイバー犯罪捜査等に関する知識及び技能を競う競技会を開催する。11月25日(金)、各警察署において予選大会を行い、平成29年1月31日(火)、警察本部において決勝大会を行う」

旨の報告があった。

イ 「～STOP! 特殊詐欺～ (まる) っとあいち・絆プロジェクト」による抑止対策の推進

生活安全部長から、

「『～STOP! 特殊詐欺～ (まる) っとあいち・絆プロジェクト』と銘打ち、『絆』をキーワードとして県民、事業者、関係機関・団体の参加を募り、参加団体の特殊詐欺被害の撲滅に向けた取組を通じて『家族の絆』や『地域の絆』の強化を図り、特殊詐欺被害者の多くを占める高齢者を社会全体で見守る気運を醸成して、被害者を生まない環境づくりを推進する」

旨の報告があった。

委員から、

「非常に良い取組だと思うので、この取組が形となって効果が現れるよう推進していただきたい」

旨の発言があった。

(3) 刑事部

ア 主要事件の発生

刑事部長から、

「8月30日、一宮警察署管内において殺人事件を認知し、翌31日、同署に捜査本部を設置した」

旨の報告があった。

イ 現在の暴力団情勢等～分裂から1年を経て

刑事部長から、

山口組が分裂して1年が経過した現在の暴力団情勢等について報告があった。

(4) 交通部

ア 交通事故発生状況（平成28年8月末）

交通部長から、平成28年8月末の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は、8月中21人で前年同期と比べ2人減少した。

8月中の交通死亡事故の主な特徴は、

東尾張地域が多発

高齢者が当事者となる死亡事故が多発

単独による死亡事故が多発

である。

9月中の主な取組は、

交通死亡事故抑止月間の実施

秋の全国交通安全運動（9月21日（水）～9月30日（金））の
実施

交通死亡事故抑止に向けた緊急ブロックセンター警察署長会議
の開催

トヨタグループと連携した高齢の横断歩行者等の安全確保に向
けた広報啓発活動の実施

KDDIと連携した交通安全啓発キャンペーンの実施

である」

旨の報告があった。

イ KDDIと連携した交通安全啓発キャンペーンの実施

交通部長から、

「スマートフォン利用者に対する交通安全意識の醸成を図るため、9月9日（金）午後1時30分から、名古屋市中村区内において、大手電気通信事業者KDDIと連携し、歩きながらあるいは運転しながらスマートフォンを使用する行為、いわゆる『ながらスマホ』防止の交通安全啓発キャンペーンを実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「今後も他社を巻き込むなどして、県民の意識に広く浸透するよう広報していただきたい」
旨の発言があった。

(5) 警備部

台風10号による被害発生に伴う広域警察航空隊の派遣

警備部長から、
「台風10号による被害の発生に伴い、岩手県警察に広域警察航空隊を派遣する」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（8件）

公安委員会執務官から、
8月29日までに届いた公安委員会宛の文書等8件
について報告があり、公安委員会は「犯罪捜査に関する申出」2件を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会執務官から、
愛知県一宮市地内における殺人事件捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の辞職 1件
について説明があり、決裁した。

(4) 平成28監査年度監査委員による定期監査の実施結果

監査官から、
平成27年度における財務に関する事務の執行及び事務事業の執行全般を
対象とした平成28監査年度監査委員による定期監査の実施結果
について報告があった。

(5) 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）

住民サービス課長から、
障害給付金支給裁定 1件
重傷病給付金支給裁定 1件
について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(6) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「交通取締りに関する苦情」について調査結果の報告及
び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、審議し、原案どおり決裁した。

(7) 行政訴訟の敗訴判決に対する対応方針

訟務官から、行政訴訟の敗訴判決に対する対応方針について、
「愛知県公安委員会による銃砲所持許可取消処分の取消しを求めた行政
訴訟につき、平成28年8月25日、名古屋地方裁判所において敗訴判決が出
たことから、控訴提起したい」
旨の報告及び説明があり、決裁した。

(8) 運転者区分決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求2件について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(9) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(10) 警察職員の援助派遣

公安第三課長から、
「山形県公安委員会から、警衛警備のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」旨の報告があった。

(11) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 76件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年9月9日 9時30分～12時50分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成28年度9月補正予算（案）の概要	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	平成28年度中部管区内警察逮捕術・拳銃射撃競技大会への出場	警務部	
3	第61回愛知県警察柔道大会の結果		
4	秋の安全なまちづくり県民運動の実施	生活安全部	
5	報告 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成28年1～8月）	刑事部	
6			
7	交通死亡事故多発警報発令に伴う対策の強化	交通部	
8	台風10号による被害発生に伴い派遣された広域警察航空隊の活動結果	警備部	
9	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成28年8月中）		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	出席者
1	報告 人事案件	本 部 長

案件	件 名	担当部	出席者
2	決裁 公安委員会宛文書等の受理（6件）	総務部	公安委員会執務官
3	決裁 激励の上申	警務部	住民サービス課長
4	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）		
5	決裁 苦情の調査結果		
6	報告 監察案件		首席監察官
7	報告 警察職員の援助派遣	警備部	警備課次長
8	決定 聴聞等の実施結果・決定 42件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成28年度9月補正予算(案)の概要

総務部長から、平成28年度9月補正予算(案)の概要について、
「補正予算額は、総額1億3,013万4千円で、事業の内容は、交通指導取締費及び交通安全施設整備費である」
旨の報告があった。

(2) 警務部

ア 平成28年度中部管区内警察逮捕術・拳銃射撃競技大会への出場

警務部長から、
「9月14日(水)、中部管区警察学校において開催される平成28年度中部管区内警察逮捕術・拳銃射撃競技大会に本県警も出場する」
旨の報告があった。

イ 第61回愛知県警察柔道大会の結果

警務部長から、
9月8日開催の第61回愛知県警察柔道大会の結果
について報告があった。

(3) 生活安全部

秋の安全なまちづくり県民運動の実施

生活安全部長から、秋の安全なまちづくり県民運動の実施について、

「『あいち地域安全戦略2017』に基づき、県民総ぐるみ運動の一環として、10月11日（火）から20日（木）までの10日間、『秋の安全なまちづくり県民運動』を実施する。

この県民運動では、

住宅を対象とした侵入盗の防止

特殊詐欺の被害防止

自動車盗の防止

子どもと女性の犯罪被害防止

暴力追放運動の推進

を重点として、各種施策を展開する。

また、10月18日（火）午後1時から、愛知芸術文化センターにおいて、『安全なまちづくり愛知県民大会』を開催する」

旨の報告があった。

委員から、

「子どもと女性の犯罪被害防止について、具体的な施策は何か」

旨の質問があり、

生活安全部長から、

「子どもについては、声掛け事案対策を中心とした施策の推進、女性については、企業の女性社員を対象としたフォーラムを開催し、被害者とならないための意識付けを行う等して、被害防止につなげる」

旨の説明があった。

(4) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成28年1～8月）

刑事部長から、平成28年1月から8月の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は46,181件で、4,620件減少した
刑法犯の検挙件数は13,710件で、254件減少した
刑法犯の検挙率は29.7パーセントで、2.2ポイント上昇した
刑法犯の検挙人員は9,508人で、642人減少した
重要窃盗犯の認知件数は5,997件で、1,351件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は2,053件で、312件増加した

重要窃盗犯の検挙率は34.2パーセントで、10.5ポイント上昇した
重要窃盗犯の検挙人員は305人で、25人減少した」
旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、
稲川会関係者らによる特殊詐欺事件の検挙概要
名古屋市中区地内拳銃使用殺人事件の検挙概要
大麻取締法違反事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「どの事件も長期間にわたる困難な事件であったが、大変見事な検挙
であった」
旨の発言があった。

(5) 交通部

交通死亡事故多発警報発令に伴う対策の強化

交通部長から、
「9月6日に愛知県知事により本年3回目の交通死亡事故多発警報が発
令されたことに伴い、交通指導取締り活動を始めとした街頭活動等を強化
し、連続多発する交通死亡事故に歯止めを掛ける」
旨の報告があった。

委員から、
「何を中心に訴えていくのか」
旨の質問があり、
交通部長から、
「車両のドライバーが緊張感を持った運転を心がけるような指導を実施
する」
旨の説明があった。

また、委員から、
「『あれもこれも』ではなく『これだけは守る』というポイントを絞った広報が効果的ではないか」
旨の発言があり、
交通部長から、
「『自転車の確実な一時停止』『薄暮時のハイビームの活用』『高齢者の反射材の着用』に重点を置いて広報活動を推進していく」
旨の説明があった。

(6) 警備部

ア 台風10号による被害発生に伴い派遣された広域警察航空隊の活動結果

警備部長から、
台風10号による被害発生に伴い派遣された広域警察航空隊の活動結果について報告があった。

委員から、
「派遣部隊の兵站にも考慮されたい」
旨の発言があった。

イ 行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成28年8月中）

警備部長から、8月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況について、
「4件の許可申請を受理し、全て許可した」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 人事案件

本部長から、
人事案件
について報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理（6件）

公安委員会執務官から、
9月5日までに届いた公安委員会宛の文書等6件
について報告があり、公安委員会は「交通取締りに対する申出」及び「警察
署員の電話対応に対する申出」の2件を警察法第79条に規定する苦情として
受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、
名古屋市中区地内における拳銃使用殺人事件特別捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）

住民サービス課長から、
重傷病給付金支給裁定 2件
について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(5) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「交通取締りに関する苦情」について調査結果の報告及
び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、審議し、原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

委員から、
「公用交通事故について、過去の発生傾向等を踏まえた効果的な再発防止対策に努めていただきたい」
旨の発言があった。

(7) 警察職員の援助派遣

警備課次長から、
「福島県公安委員会から、警戒活動のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」
旨の報告があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 38件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 9月16日 10時00分～12時15分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成28年度愛知県警察テレビ番組の制作・放送	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	主要事件の検挙	生活安全部	生活安全部長 地 域 部 長
3	警察航空隊と山岳救助隊の連携による搜索救助活動好事例	地域部	刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長
4	主要事件の検挙	刑事部	名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（4件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
3 報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施	生活安全部	子ども女性安全対策課長
4 決定	聴聞等の実施結果・決定 58件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

平成28年度愛知県警察テレビ番組の制作・放送

総務部長から、平成28年度愛知県警察テレビ番組の制作・放送について、
「県民の警察活動に対する理解と協力を得るとともに、安全意識の高揚を図るため、県警の各種活動をテレビ放送を通じて紹介する。

また、番組を収録したDVDを制作し、各所属に配付して、イベント等の広報活動で活用する」

旨の報告があった。

委員から、

「警察は、県民にとって『困った時の駆け込み寺』であるから、敷居が高くてはいけない。ぜひ、『警察は身近な存在である』という印象を与える番組にしていきたい」

旨の発言があった。

(2) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、

私電磁的記録不正作出・同供用事件の検挙概要
について報告があった。

委員から、

「非常に迷惑な犯罪であり、早期の検挙でなによりであった」
旨の発言があった。

(3) 地域部

警察航空隊と山岳救助隊の連携による捜索救助活動好事例

地域部長から、

「県内の山中において遭難した家族を、警察航空隊と山岳救助隊が連携して無事救助した」

旨の報告があった。

委員から、

「今回の現場付近において、こういった遭難事故の再発防止について何か対策を施したのか」

旨の質問があり、

地域部長から、

「市の広報誌やホームページ等で注意喚起を行った。引き続き隊員を中心とした訓練を行っていきたい」

旨の説明があった。

(4) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

元暴力団員を首魁とする海外マネー・ロンダリング事件の検挙概要について報告があった。

委員から、

「長期間にわたる複雑な捜査であったと思うが、よく解明していただいた」

旨のねぎらいの言葉があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（４件）

公安委員会執務官から、
9月12日までに届いた公安委員会宛の文書等4件
について報告があり、公安委員会は「証拠品の還付に関する申出」を警察法
第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決
裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、1警察署協議会1人の辞職及び後任者1人の委嘱につ
いて決裁した。

(3) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に
基づく警告の実施について、
「平成28年8月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、
押し掛け、面会等要求、粗野乱暴な言動、名誉を害する事項の告知等を理
由に43件の警告を実施した」
旨の報告があった。

(4) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 55件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 9月23日 10時00分～12時40分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員・佐伯委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	10月の行事予定	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	第4回男性が学ぶ女性安全対策カレッジの開催	生活安全部	
3	いわゆる「ぼったくり」の防止に関する条例（案）に係るパブリック・コメント等の実施結果		
4	報告 主要事件の検挙		
5	主要事件の検挙	刑事部	
6	損害保険協会との高齢者事故防止協定の締結	交通部	
7	警護警備の実施	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	報告 警察署長会議の開催結果	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 公安委員会宛文書等の受理（1件）		
3	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住民サービス課長 訟 務 官
4	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		
5	裁決 運転者区分決定に対する審査請求		
6	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求		
7	決裁 愛知県暴力団排除条例による勧告	刑事部	組織犯罪対策課長
8	決定 聴聞等の実施結果・決定 42件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

10月の行事予定

警務部長から、10月の行事予定について、

「県警強調業務は、

安全なまちづくりの推進

弘道会を中心とした暴力団総合対策及び薬物・拳銃取締りの強化

で、各部強調業務は、

悪質な風俗関係事犯等取締りの強化

である」

旨の報告があった。

(2) 生活安全部

ア 第4回男性が学ぶ女性安全対策カレッジの開催

生活安全部長から、

「10月6日(木)午後1時30分から、名古屋市中区役所ホールにおいて、企業の男性幹部や保護司等幅広い年代の男性を対象とした『第4回男性が学ぶ女性安全対策カレッジ』を開催し、男性に働きかける啓発活動を行うことで、性犯罪被害等の未然防止について社会全体の意識を高める」

旨の報告があった。

イ いわゆる「ぼったくり」の防止に関する条例(案)に係るパブリック・コメント等の実施結果

生活安全部長から、

8月5日(金)から9月5日(月)までの間に実施したいわゆる「ぼ

ったくり」の防止に関する条例（案）に係るパブリック・コメント等の実施結果
について報告があった。

委員から、
「条例の早期制定をお願いしたい」
旨の発言があった。

ウ 主要事件の検挙

生活安全部長から、
賭博店の摘発による常習賭博及び賭博被疑者の検挙概要
について報告があった。

(3) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
連続空き巣事件被疑者の検挙概要
連続ひったくり事件被疑者の検挙概要
について報告があった。

委員から、
「粘り強い捜査のたまものである」
「地元住民が不安に感じていた事件だと思うので、検挙されて良かった」
旨の発言があった。

また、委員から、
「事件発生時には、対応策も含めてタイムリーな広報に心がけていただ
きたい」
旨の発言があった。

(4) 交通部

損害保険協会との高齢者事故防止協定の締結

交通部長から、

「高齢運転者による交通事故や高齢者が被害者となる交通事故を未然に防止するため、一般社団法人日本損害保険協会中部支部と協定を結び、自動車保険契約者へ高齢者の交通事故防止に向けた交通安全情報を提供する」旨の報告があった。

(5) 警備部

警備部長から、

警護警備の実施
について報告があった。

委員から、

「大変な任務であるが、無事完遂していただきたい」旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 警察署長会議の開催結果

公安委員会執務官から、

9月21日(水)に警察本部で開催された警察署長会議の結果
について報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理

公安委員会執務官から、

9月20日までに届いた公安委員会宛の文書等1件
について報告があり、公安委員会は「取調べに関する申出」を警察法第79条

に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
重傷病給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(4) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、行政訴訟の発生及び応訴について、
「愛知県公安委員会による運転免許取消処分等の取消しを求め、平成28
年8月25日、名古屋地方裁判所に提訴されたため、応訴したい」
旨の報告及び説明があり、決裁した。

(5) 運転者区分決定に対する審査請求

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(6) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(7) 愛知県暴力団排除条例による勧告

組織犯罪対策課長から、
「愛知県暴力団排除条例第25条の規定により、勧告を実施する」

旨の報告あり、決裁した。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 39件
 風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 3件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年9月30日 10時00分～12時35分

出席委員：入谷委員長・立花委員・天谷委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成29年度再任用候補者選考結果	警務部	総務課長 警務部長 生活安全部長 地域部長
2	第71回国民体育大会への出場		
3	第44回愛知県警察逮捕術大会の実施		
4 報告	主要事件の検挙	生活安全部	刑事部長 交通部長 警備部長 名古屋市警察部長 情報通信部長
5	主要事件の検挙	刑事部	
6	第47回全国白バイ安全運転競技大会への出場	交通部	
7	警衛警備の実施	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（1件）	総務部	公安委員会執務官 監査官
2 報告	外部通報の受理		
3 報告	平成29年監査年度監査委員による定期監査の実施		
4 決裁	愛知県警察の組織に関する規則の一部改正	警務部	警務課長
5 報告	いわゆる「ぼったくり」の防止に関する条例（案）のパブリック・コメント結果の公表について	生活安全部	保安課長
6 報告	主要事件の検挙	刑事部	薬物銃器対策課次長
7 報告	警察職員の援助派遣	警備部	警備課長
8 決定	聴聞等の実施結果・決定 56件	総務部	首席聴聞官 聴聞官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 平成29年度再任用候補者選考結果

警務部長から、
平成29年度再任用候補者選考結果
について報告があった。

イ 第71回国民体育大会への出場

警務部長から、標記大会への出場について、
「岩手県において開催される第71回国民体育大会に、本県警察から8
人の警察官が選手として出場する。競技別では、柔道2人、剣道5人、
拳銃のセンター・ファイア・ピストル1人である」
旨の報告があった。

ウ 第44回愛知県警察逮捕術大会の実施

警務部長から、標記大会の開催について、
「10月6日(木)午前9時30分から、愛知県武道館において開催する」
旨の報告があった。

(2) 生活安全部

主要事件の検挙

生活安全部長から、
闇サイトに係る児童ポルノ販売等事件被疑者の検挙概要
名古屋市に対する不正アクセス禁止法違反等被疑者の検挙概要

について報告があった。

(3) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、
弘道会傘下組織幹部らによる恐喝未遂事件の検挙概要
について報告があった。

(4) 交通部

第47回全国白バイ安全運転競技大会への出場

交通部長から、標記大会への出場について、
「10月8日(土)、9日(日)の2日間、茨城県ひたちなか市の自動車
安全運転センターにおいて開催される第47回全国白バイ安全運転競技大会
に、当県警察から男女合わせて6人の警察官が出場する」
旨の報告があった。

(5) 警備部

警備部長から、
警衛警備の実施
について報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理(1件)

公安委員会執務官から、
9月26日までに届いた公安委員会宛の文書等1件

について報告があり、公安委員会は「犯罪捜査に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 外部通報の受理

公安委員会執務官から、
外部通報の受理
について報告があった。

(3) 平成29監査年度監査委員による定期監査の実施

監査官から、
平成29監査年度監査委員による定期監査の実施
について報告があった。

(4) 愛知県警察の組織に関する規則の一部改正

警務課長から、愛知県警察の組織に関する規則の一部改正について、
「本年6月1日に国外での犯罪による被害者に対する経済的支援を目的とした国外犯罪被害者慰金等の支給に関する法律が成立したことにより、各部の分掌事務等を定めた愛知県警察の組織等に関する条例の一部を改正することに伴い、各課の分掌事務等を定めた愛知県警察の組織に関する規則の一部を改正する」
旨の報告があり、決裁した。

(5) いわゆる「ぼったくり」の防止に関する条例（案）のパブリック・コメント結果の公表について

保安課長から、
「いわゆる『ぼったくり』の防止に関する条例（案）の概要に対するパブリック・コメントの募集結果及びそれに対する愛知県警察の考え方等に

「について県警ホームページ等で公表する」
旨の報告があった。

(6) 主要事件の検挙

薬物銃器対策課次長から、
覚せい剤取締法違反事件被疑者の検挙概要
について報告があった。

(7) 警察職員の援助派遣

警備課長から、警察職員の援助派遣について、
「福井県公安委員会、福島県公安委員会及び沖縄県公安委員会から、警
戒警備のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助
要求があり、それぞれ必要な警察職員を派遣する」
旨の報告があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 53件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 2件
警備業の停止処分に関する聴聞結果 1件
について報告があり、行政処分を決定した。